



柏葉



学校だより 第14号
 令和7年7月11日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 邊見 浩
 「自分の未来を切り拓け！」

第2回生き生き協議会

7月9日(水)の放課後に第2回生き生き協議会を生徒会本部役員を中心に各学級の学級委員、生徒会各専門委員長、各部活動部長が集まって、5月の生徒会総会で出された「靴下や靴を白以外も許可してほしい」という要望からテーマが設定され、協議を行いました。それぞれのグループでの話し合いでは、利点や課題、その解決策について意見交換がなされました。今後は、生徒会本部で意見を集約し、まとめたものを職員会議の場で、協議する予定です。



青少年健全育成推進大会

7月7日(月)に『～咲かせよう笑顔の花を!!』子どもの夢と明るい未来のために～』をスローガンに白河市青少年健全育成推進大会並びに市内中学2年生を対象とした舞台芸術鑑賞授業が行われました。「青年の主張」発表には、市内7校の代表生徒が発表をしました。本校からは3年生の兼子心優さんが『同調行動への向き合い方』について、自分の考えを堂々と発表して、見事白河市教育委員会教育長賞を受賞し、県大会へ推薦されました。

また、舞台芸術鑑賞では、ジャズサックス奏者の名雪祥代さんを中心としたジャズバンドが「～変幻自在なジャズ! ルーツと進化～」と題して、演奏とともにジャズの歴史についての解説や各校の校歌をアレンジしての演奏など、ジャズを存分に楽しみました。



白河歴史文化再発見

7月2日(火)に、2年生に対して白河歴史文化再発見事業を行いました。白河市文化財課から講師の先生をお招きし、ご講話をいただきました。そもそも文化財とはなにか、白河にある身近な遺跡のことなど、普段の授業では触れられないような細かいところまでお話をいただきました。白河には624つの遺跡が見つかっていること、史跡と呼ばれる国に指定されている重要な遺跡が白河市には7つもあることなどの話をいただきました。実は身近な白河という地は歴史的に非常に重要だという話を聞いて、生徒達は驚いた様子でした。また、実際に遺跡から見つかった土器を復元した物を触りながら、色や手触りの違いを話合う様子も見られ、歴史をより現実のものと捉え、学ぶことができたようです。



福島県中学校陸上競技大会

第68回福島県中学校体育大会陸上競技大会が7月2日(水)から3日間に渡って、福島県営あづま運動公園陸上競技場で行われました。

本校からは、5月に県南地区代表として出場権を得た4名の選手が大会に臨み、自己記録更新を目指しました。出場選手は以下のとおりです。

- 共通男子3000m 3年1組 三村 大地さん
- 1年男子1500m 1年1組 山田 蒼意さん
- 3年女子100m 3年1組 鈴木 めいさん
- 共通女子砲丸投 3年1組 阿部 桃佳さん



大判プリンター 寄贈!!

泉田地区に建設されましたスズテック株式会社から事業所完成を記念し、大判プリンターを寄贈いただきました。また、『ひなんの家』として非常時には子どもたちを受入れていただけることになりました。誠にありがとうございます。

